

2017.8 NO.65

同窓會報



〒610-1197 京都市西京区大枝杵掛町 13-6
京都市立芸術大学美術学部同窓会 象の会
発行人：同窓会会長 上村 淳之
TEL/FAX 075-334-2218
携帯 /090-7353-6999
http://www.kyogei-ob.jp
E-mail info@kyogei-ob.jp

平面だけでなく、立体作品も！
毎年好評の匿名型チャリティオークション
気に入った作品に入札して、アートと被災地を応援しよう！

SILENT
@KCUA
2017

サイレントアーク

2017.8.5・sat - 8.13・sun

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

開館時間：11:00-19:00 休館日：会期中無休 入場料：無料

2017年8月5日(土)～13日(日) ギャラリー@KCUA

京都市立芸術大学移転整備に向けた動き

これまで、京都市とともに検討を進めて参りました「京都市立芸術大学移転整備基本計画」が、市民意見の募集を経て、平成26年3月30日に策定されました。

この中で学校施設の充実や多様化するニーズに応える美術教育活動の展開、高大連携の推進等の効果が期待できることから京都市立銅駝美術工芸高校が京都芸大と共に同敷地に移転整備されることが決まりました。

今後、同計画に基づき設計者を選定し、基本設計・実施設計を平成31年度までに行い、平成32年度に工事着手、平成35年度に新キャンパスのオープンを予定しています。(基本計画は本学ホームページ「大学移転」からご覧いただけます。)

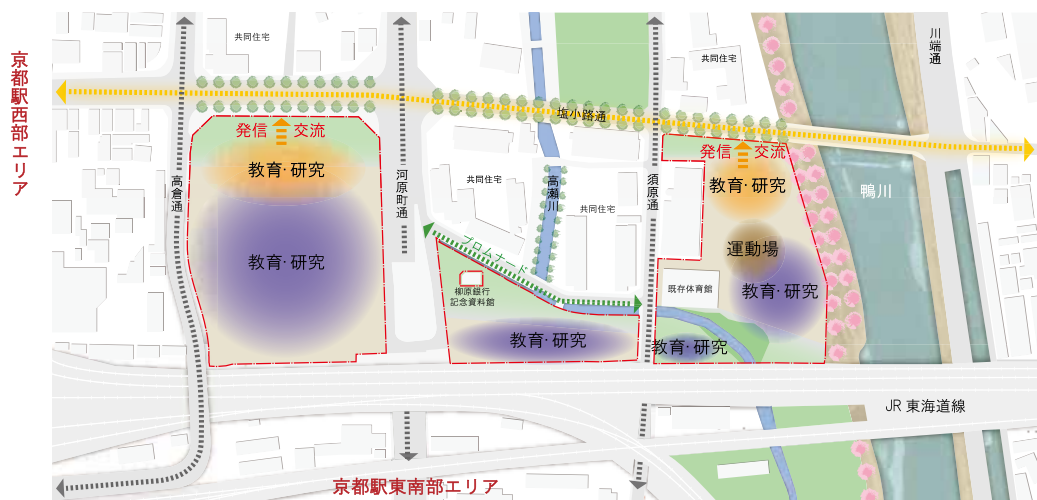
設計に当たっては、長く、快適に創造活動を行うことができ

るキャンパスを整備するため、設計者と密にコミュニケーションを図り設計を練り上げていく、対話型の設計プロセスを平成31年度までに終えるよう予定しています。

現在、設計者選定の公募型プロポーザル(※)が行われており、審査を行う「受託者選定委員会」の委員には、本学から、鷺田学長と環境デザイン専攻講師の坂東先生が就任されています。また、委員長の門内輝行京都大学名誉教授は本学の客員教授にもご就任いただいております。

今後は、一次審査を通過した応募者から、二次審査として提案内容に関するプレゼンテーションを受け、9月には受託候補者が決定し、以降、基本設計に着手する予定です。

(総務広報課)



※公募型プロポーザル

公募により複数の者(受託希望者)からその目的に合致した企画を提案してもらい、その中から企画・提案能力のある者を選ぶ方式。コンペ方式が「設計書」を選定するのに対し、プロポーザル方式は「設計者」を選定するという違いがある。

Head line

京都市立芸術大学移転整備に向けた動き	1
2017年度 同窓会象の会「役員会」と「懇親会」を開催	2
2016年度 同窓会展 1980年代再考のためのアーカイバル・プラクティス	4
京都市立芸術大学美術学部同窓会展 =作品公募=	6
芸大作品展同窓会賞の賞状デザインを公募	6
同窓生だより	7
2016年度「京都市立芸術大学作品展」同窓会賞受賞作品	8
Relay Talk「象の会・いろいろあわせ」	9

京都芸大同窓会人材掲示板サイト「やまびこ」の運用を開始	9
平成29年度後期芸術資料館収蔵品展	10
着任のあいさつ	10
五芸祭報告	11
今秋の芸大祭「象の店」開店ご案内	11
京都市立芸術大学宴会部のご案内	12
事務局だより	12
編集後記	12

2017年度 同窓会象の会「役員会」と「懇親会」を開催

2017年度の同窓会象の会役員会を7月2日(日)16時から「京都ロイヤルホテル&スパ」2階翠峰の間で開催し、同じ場所で18時から懇親会を開催しました。出席の役員は55名(出席役員33名、委任状22名)で提案の7議案が審議され、賛成多数で全議案が可決承認されました。その内容について報告します。

司会：望月副会長。黙祷の後、上村会長から開会のあいさつ、その後議長(安井代表幹事)を選出し、議事録署名人(野崎、安井両代表幹事)を指名しました。

1号議案<2016年事業報告>

- ・ 新入生に入学祝品「芸大130年の歩み京の美都の響き」贈呈 4月4日
- ・ 2016年度役員会の開催(京都ロイヤルホテル&スパ) 7月3日
- ・ 総務委員会開催(2回) 6月15日、12月14日
- ・ 会報象の発行(2回)と編集委員会開催 9月上旬、2月上旬
- ・ 真声会との連絡会議 5月31日、12月14日
- ・ 芸大祭に同窓会模擬店「象の店」出店 11月5日～7日
- ・ 同窓会展開催(1980年代を中心に) 2月18日～3月5日
ギャラリー@KCUAにて、21人(20点)出展
- ・ 新入生に同窓会入会と入会金納付のお願い文書送付 3月
- ・ 卒業、修了生にお祝いの「同窓生名簿」を贈呈 3月
- ・ 芸大作品展に同窓会賞 13点 賞状、副賞授与 3月23日
- ・ 同窓会後援名義使用申請4件、同窓生の作品展HPに掲載69件

2号議案<2016年決算報告>

- ・ 一般会計決算＝収 入：16,541,905円
支 出：10,883,816円
繰越金： 5,658,089円
- ・ 基金特別会計＝繰越金：16,900,000円
- ・ 名簿発行特別＝繰越金： △375,910円
- ・ 財産合計＝22,182,179円

3号議案<2017年度事業計画>

- ・ 新入生に入学祝品「芸大130年の歩み京の美都の響き」贈呈 4月10日
- ・ 2017年度役員会の開催(京都ロイヤルホテル&スパ) 7月2日
- ・ 大学支援の実施(大学からの要請に基づき)
- ・ 総務委員会開催(随時) 6月20日、他
- ・ 会報象の発行(2回)と編集委員会開催 8月上旬、2月上旬
- ・ 真声会との連絡会議(2回)
- ・ 芸大祭に同窓会模擬店「象の店」出店 11月3日～5日
- ・ 同窓会展開催(1990年代前半を中心に) 2月17日～3月4日
ギャラリー@KCUAにて
- ・ ホームページ運営委員会開催
- ・ 新入生に同窓会入会と入会金納付のお願い文書送付 3月
- ・ 卒業、修了生にお祝いの「同窓生名簿」を贈呈 3月
- ・ 芸大作品展に同窓会賞 13点 賞状、副賞授与予定 3月
- ・ 同窓会後援名義使用許可、同窓生の作品展HPに掲載



4号議案<2017年度予算>

- ・ 2017年度一般会計＝収入：9,908,100円
支出：8,712,000円
(200万円を基金特別会計に戻入)
- ・ 基金特別会計＝収入：20,181,000円 支出： 0円
- ・ 同窓生名簿会計＝収入： △340,910円 支出：10,000円

5号議案<中長期的事業計画案>

- ・ 大学創立140周年記念「同窓会アートフェア2021」の開催
- ・ 大学創立140周年記念「同窓生名簿2020」の編集発行
- ・ 「同窓生カード」の制作発行

6号議案<同窓会賞賞状デザインの公募について> 後掲

7号議案<幹事役員の一部改選について> 役員名簿参照

・発言された主な意見と答弁

上村会長：身体の調子も芳しくない状況なので前からお願いしているように会長職を交代して欲しいと表明しておきたい。

望月副会長：上村先生には事情の許す限り会長職を継続していただけるようお願いしたい。これは役員だけでなく多くの同窓生の思いでもある。少なくとも2020年の大学創立140周年までは会長職をお願いしたい。

との意見が表明され、上村会長からもそれ以上の反論はなかった。

金田先生(油画)：春の作品展、市美術館改装工事のため大学をメイン会場として実施しなければならない。そのため今までと違う準備が必要となるが、予算措置が中々厳しい部分もあり、同窓会事業の大学支援の枠で援助願えれば助かる。

野崎代表幹事：大学として一本化し同窓会に要望頂ければ可能だと思う。大学支援は事業補助が主旨なのでそれに合うよう申請願えれば、正副会長とも相談した上で考えたい。

出原先生(版画)：同窓会賞の賞状デザインを公募するのは良い企画だと思うが、色数を3色と制限するのはどうかと思う。4色が必要では？

野崎代表幹事：考えがあって3色に制限したわけでは無いので、先生のご意見も参考に応募要項作成時(会報発行時)に調整したい。

茶谷さん (PD) : 支部活動について報告があったが、私は今「宴会部」というフェイスブックを運用し、芸大同窓生、学生の600人程に利用いただいている。こうした活動と同窓会の活動がうまくリンクできれば良いのではと思う。

野崎代表幹事 : 「宴会部」については聞いている。おっしゃる様にうまくリンクでき協力できるよう取り組んでいきたい。まず会報で「宴会部」の活動内容を紹介するよう考えたい。

上村会長 : 大学が今熊野から大枝に移転する際、教員や民間企業から基金を募り3億円程集めたと記憶しているが、その基金がその後どうなっているのかOBになってから聞かされていない。仮に残っているとすれば今度の移転で使えば良い。

【懇親会】 司会 : 阿部副会長

来賓 : 鷲田清一学長(理事長)、淀野 実副理事長、
荒木裕一事務局長が出席

学長よりご挨拶をいただき、荒木事務局長より大学移転の現状について説明。

その後、上村会長から大学移転先に同窓会事務室を設置する内容の要望書を鷲田学長へ提出。

- ①移転先大学構内に同窓会「象の会」活動拠点となる十分なスペース(60平方メートル以上)と機能(会議室、事務室、倉庫)を有する同窓会室を確保いただくこと

②その際、同窓会「象の会」の要望を聞き、調整に努めていただくこと

淀野副理事長の発声により乾杯。
その後20時頃まで大いに懇親を深め、上村会長の締めめの挨拶でお開きとなりました。



同窓会役員名簿 (2017 年度)

● 印は新任				
名誉会員	梅原 猛	中西 進	潮江 宏三	建島 哲
顧問	中井 貞次	川村 善之		
名誉会長	鷲田 清一 (理事長・学長)			
名誉副会長	淀野 実 (副理事長)	荒木 裕一 (事務局長)		
	学 内	学 外		
会 長		上村 淳之 (1957 (昭 32) 日)		
副会長		望月 重延 (1967 (昭 42) 塗) 阿部 緑 (1983 (昭 58) 染)		
代表幹事	安井 友幸 (漆工)	野崎 邦雄 (1969 (昭 44) 洋)		
会 計	藤本 英子 (環境D) ●	東田 幸治 (1983 (昭 58) 油)		
監 査	長谷川直人 (陶磁器)	水野 収 (1979 (昭 54) 日)		
幹 事	大野 俊明 (日本画) ●	三宅 五穂 (1951 (昭 26) 彫)	中井 貞次 (1954 (昭 29) 染)	榊原 吉郎 (1957 (昭 32) 洋)
	赤松 玉女 (油画) ●	矢田 精治 (1958 (昭 33) 洋)	芦田 裕昭 (1959 (昭 34) 日)	伊藤 義明 (1959 (昭 34) 図)
	吉岡 俊直 (版画) ●	舞原 克典 (1961 (昭 36) 洋)	二階堂 忠 (1962 (昭 37) 洋)	川口 凱正 (1963 (昭 38) 日)
	金氏 徹平 (彫刻)	佐野 賢 (1966 (昭 41) 彫)	古川加津夫 (1970 (昭 45) D)	竹内 三雄 (1972 (昭 47) 彫)
	砥綿 正之 (構想設計)	中野 順二 (1972 (昭 47) 塗)	出井 豊二 (1973 (昭 48) D)	佐藤 敬二 (1974 (昭 49) D)
	滝口 洋子 (VD)	杉本 清 (1974 (昭 49) D)	小山 格平 (1976 (昭 51) D)	岩間 香 (1977 (昭 52) 日)
	塚田 章 (PD)	酒井 雅子 (1978 (昭 53) 洋)	市川 博一 (1982 (昭 57) 陶)	児玉 靖枝 (1984 (昭 59) 油)
	日下部雅生 (染織)	村岡 幸信 (1985 (昭 60) 日)	河原 有伽 (1986 (昭 61) 版)	茶谷 文子 (1986 (昭 61) PD)
	田島 達也 (芸術学)	谷本 天志 (1989 (平 1) 油)	安藤 吉準 (1989 (平 1) 構)	辻野 宗一 (1990 (平 2) 日)
	横田 学 (教職)	新田 恭子 (1990 (平 2) 染)	安井 健二 (1992 (平 4) VD)	渡邊 野子 (1993 (平 5) 油)
		福岡 崇 (1994 (平 6) PD)	吉岡 佐知 (1995 (平 7) 日)	新道 牧人 (1997 (平 9) 彫)
		福本 双紅 (1997 (平 9) 陶)	正垣 雅子 (1998 (平 10) 日)	新道 尚美 (1998 (平 10) 陶)
		川越 里美 (1998 (平 10) 陶)	北里美絵子 (1998 (平 10) 染)	黒川 彰宣 (1999 (平 11) 彫)
		人長 果月 (1999 (平 11) 構)	徳永 杏子 (1999 (平 11) VD)	小川久美子 (1999 (平 11) 染)
		関陶 宏祐 (2001 (平 13) 日)	谷口 晋也 (2001 (平 13) 陶)	吉岡 千尋 (2004 (平 16) 油)
		毛呂 祐子 (2004 (平 16) 芸)	井手本貴子 (2005 (平 17) 日)	谷澤紗和子 (2005 (平 17) 油)
		久門 剛史 (2005 (平 17) 彫)	佐野 暁 (2005 (平 17) 漆)	古川きくみ (2007 (平 19) 環D)
		公庄 直樹 (2007 (平 19) 漆)	小西 愛子 (2008 (平 20) 環D)	中村 潤 (2009 (平 21) 彫)
		村田ちひろ (2009 (平 21) 染)	萩原 佳奈 (2010 (平 22) 漆)	村井 都 (2013 (平 25) 版)
		濱野 志織 (2014 (平 26) 芸)		

2016年度 同窓会展 1980年代再考のためのアーカイバル・プラクティス
 2017年2月18日(金)～3月5日(日) 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUAにて



石原友明
 「Self portraits」
 1984 年



明賀政子
 「陸の船」
 1987 年



長谷川直人
 「在(界) I」
 1983 年



長尾浩幸
 「Blind vision」
 1984 年



片野まん (片野満)
 「不正療法」
 1989 年



大谷史子
 「醒」
 1988 年



小池一範
 「街の灯」
 1986 年



飯塚二郎
 「Eyes from the underground I」
 1989 年



阿部 緑
 「緑風」
 1985 年



橋本桂子
 「Field」
 1987 年



岡田英子
「MIDNIGHT WAVE」
1982 年



上野政彦
「無題」
1981 年



栗本夏樹
「心域 II」 第 5 回フジヤマゲイシャ展出品作品
1986 年



久保隆三・沖 勝之
「乗用車のデザイン」
1981 年



村上吉寿
「PUBLIC TELEPOST SYSTEM (公衆電子郵便システムの提案)」
1989 年



砥綿正之
「比喩の力」
1982 年



早川裕子 (旧姓田所)
「飲」
1982 年



前野正司
「耀」
1981 年



木若久美子 (旧姓玉腰)
「朱塗乾漆食籠」
1982 年



田川真千子
「夜に奏でる」
1986 年

京都市立芸術大学美術学部同窓会展 = 作品公募 = 大枝杓掛時代 - 1990 年代前半を中心に -

2018年2月17日(土)～3月4日(日)
京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

本展は、2017年2月に実施した京都市立芸術大学美術学部同窓会展「1980年代再考のためのアーカイバル・プラクティス」に引き続き、東山区今熊野から西京区大枝杓掛町へのキャンパス移転を巡る企画となります。移転が大学にもたらしたものを探るべく、同窓生の皆さまからご提供いただきました資料や、70年代に試行された「京都市立芸術大学美術学部の改革のための案」などを手掛かりに、調査を進めているところです。また、前回の展覧会関連企画として行った研究会「リサーチプログラム——Still Moving: The '80s」でも、貴重なご意見や証言をいただくことができました。この場を借りてお礼申し上げます。

今年度は、80年代に続く時代として、90年代前半の作品を展示

すると同時に、前回同様、資料研究の発表の場としての「アーカイバル・プラクティス・ラボ」の公開を予定しています。

90年代前半は、大枝杓掛町周辺の学生下宿アパートなどでも展示が行われたりと、杓掛の地に本学学生の活動が根付いていった時代でもあります。当時制作された作品のご出品はもちろん、当時の展覧会の関連資料などをお持ちの場合は、お借りすることができますたら大変幸甚に存じます。お借りいたしました資料については、スキャンや撮影、展覧会での展示ののちにお返しし、その複写をその後のアーカイブ研究に役立てたいと考えております。ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(ギャラリー@KCUA学芸員 藤田瑞穂)

作品内容 1990年代前半頃に在籍/在職していた学生、教員による当時の作品(作家所蔵作品、大学芸術資料館所蔵作品)

作品展数 約20点

関連事業 1990年前半の大枝杓掛時代の芸大をテーマにギャラリートーク、座談会など(予定)

<作品公募>

公募対象: ①同窓会象の会の正会員としての義務(会費納入)を果たしている会員及び特別会員

②①の中で1990年前半に在学され、その時代に製作された作品を準備できる会員

公募作品: 1990年前半に製作された作品でジャンルを問いません
サイズは展示可能な範囲(平面100号まで、立体1m立方以内)

既発表作品でも可とします

当該作品が大学芸術資料館で所蔵されている場合

は、その作品で応募・展示することができます

公募期間: 2017年10月2日(月)～12月22日(金)まで

応募方法: 応募を希望される会員は、電話、郵便、FAX、メールなどで公募期間内に同窓会事務局まで連絡ください。折り返し応募用紙を送りますので記入いただき返送ください(応募者が少なく展覧会の開催に支障をきたす場合は、主催者の判断で別途出品を依頼する場合があります)

出品料: 無料(作品の搬出入に要する費用は出品者でご負担ください)

その他: 展覧会のDMは主催者で用意し事前に出品者へお渡しします

搬出入など詳細は、出品が決まった時点で連絡します

問合せ: 美術学部同窓会象の会事務局

担当/開本恭子(090-7553-6999)

芸大作品展同窓会賞の賞状デザインを公募

芸大作品展同窓会賞の授与について、2016年度から卒業式の場で賞状と副賞を同窓会長から受賞代表者に手渡すことになりました。

それを機会に同窓会賞の賞状デザインを一新するため、そのデザインを公募します。募集の要項は次の通りです。多くの方々からの応募を期待しています。

【募集要項】

応募者 京都市立芸術大学美術学部の学生、教員、同窓生に限る<応募点数制限なし>

募集期間 2017年11月1日(水)～12月26日(火)まで

提出問合先 美術学部同窓会象の会事務局まで
担当/開本恭子(090-7553-6999)

審査 同窓会が指名した複数の審査員によって審査、
審査結果は2018年1月末に公表(大学掲示板など)

賞金 採用されたデザイン1点に賞金3万円

デザイン仕様

- ・サイズ: A4判、縦位置、賞状は洋紙を使用
 - ・賞状に必要な文字と数(事務局へ問合せ)が入るよう考慮
 - ・使用色数: 単色～多色(制限なし)
 - ・同窓会賞にふさわしく、落ち着いた格調高いオリジナルなデザイン
 - ・ペーパー又はデータどちらでも可(データ提出はデータとプリントされた紙)
- その他** 採用されたデザインの意匠権、著作権は同窓会象の会に帰属する



京都で「ヌフ展」ー第4回展を終えて

ヌフ展代表 山崎 和代 (1966年西洋画専攻卒業)



毎年春、4月から5月のさわやかな季節に、府立文化芸術会館の2階展示室をお借りして、「ヌフ展」を開催できるようになり、今年、第4回展を終えました。今年の会期は4月11日～16日、まさに春爛漫、桜満開の美しい京都でたくさんの方々にご来場いただき、有意義な6日間を過ごすことができました。

ヌフは、関東・名古屋の作家6名と関西の作家2名、四国から1名の参加で作った会です。9人のメンバーで結成したのでフランス語の9の意味のヌフ(NEUF)と名付けました。

ヌフはフランス語で新しいという意味もあります。

私事ですが、十数年前、関東地方を中心に創作活動をする京都芸大卒業生の同窓会展「象展」が毎年東京で開かれていることを知り、卒業以来、関東に移り住んで身近に同窓生との交流が全くなかった私は、早速に仲間に入れていただきました。当時は象展創立以来の大先輩の方々が大勢いらっしゃって、皆さん優しいばかりで、作品の批評をしていただいたり、会員同士でお互いの作品について率直に意見を交換したり、美大時代の懐かしい思い出話をしたり、等、他の作家グループに接する時と違った暖かい雰囲気の中で同窓生のありがたさを感じながら毎年、象展に出品を続けてきました。

その象展のメンバーの中から京都でも発表の場を持ちたいという希望が出てまいりました。

そして、特に強い希望を持った比較的年齢の近い女性会員6名(日本画の依田、宮島、洋画の古川、山崎、版画の柳田、山本)に関西の3名の作家(陶のサトー、染絵画の東樋口、水彩の上山)の賛同をいただいて、ヌフを結成いたしました。メンバーは様々な形で仕事をしていて分野も色々ですが現状に甘んじない姿勢から

刺激を受けつつ、共感するものを持っています。長年、それぞれのペースで制作を続けて来たことにお互い信頼感を持ちながら自然体で会を続けられるのも同窓生という安心感によるものかもしれません。

京都で発表する機会を持つことで、先生、先輩、同窓生に観に来ていただき、懐かしい方々と旧交を暖められることはとてもうれしいことです。

それぞれの方々から沢山の刺激を受け、忌憚のないご意見、ご批評をいただき今後の励みになるとともに、毎年新たな緊張感を持って制作にあたることは大きな収穫と思っています。

学生時代にほつつき歩いた京都の街を、当時を思い出しながら再び歩けることもうれしいことの一つ。観光客であふれている今の京都ですが、当時東山七条にあった美大まで通った、京都駅から今熊野のあたり、東山通りあたりは昔のたたずまいそのままの雰囲気が残っていて、気分はすぐに青春時代に戻ります。メンバーのほとんどは70歳前後になりましたが、私たちはもう少し楽しく元気なシニアとして頑張りたいと思っています。次回の「ヌフ展」にぜひおいでになってください。

2016 年度

「京都市立芸術大学作品展」同窓会賞受賞作品（13 点）

会期＝2017年2月8日～12日 会場＝京都市立美術館、京都市立芸術大学構内



陰と陽
金森 ちひろ
日本画 院2回生



overlook H
城 愛音
油画 4回生



Over to you
前田 耕平
構想設計 院2回生



塑像
櫻井 想
版画 院2回生



親愛なるあなたへ（新しい星へ旅をするために）
崔 多情
彫刻 院2回生



食肉信仰
都甲 梨代
ビジュアル・デザイン 4回生



田口家会議
田口 真希
環境デザイン 4回生



fondere
井村 陽美
プロダクト・デザイン 院2回生



流れる女
山本 真実江
陶磁器 院2回生



亀手箱 セマルハコガメ／アオウミガメ／
パンケーキリクガメ
猪俣 愛
漆工 4回生



Dreams are for weaving -for you and I-
寺川 茜
染織 4回生



京都市立芸術大学資料館所蔵「能満院仏画粉本」より
「十二天図」原画の復元研究
安居 千晶
保存修復 院2回生

<論文>

フランスにおける山海塾作品の評価の様相
－仏紙 Le Monde の劇評を中心に－
砥綿 栞
総合芸術学 4回生

象の会・いろあわせ

同窓生が同窓生を紹介し、リレーしていく近況報告のコーナーで、懐かしい人と出会う楽しみ、いつか自分に廻ってくるかも知れないドキドキ感のある連載です。

金井 良輔

1975年(昭50)彫刻科卒業
ラグビー部

同時代を生きる作家の作品を集めている。1975年の春、辻晋堂先生から陶彫「大平正芳」像をいただいた。在任中に亡くなった宰相である。そしてこれが私の初めてのそして最も大切なコレクションとなっている。

中学1年の美術は、美大の専攻科に在学中のT先生であった。授業の後で先生の木彫の写真やスケッチを見せてくださった。大変な衝撃と憧憬が私の中に通奏低音として定着した。芸大に共通ガイダンス1期生として入学した私が迷いなく彫刻を選んだのは自然なことであった。

あまり真面目な学生ではなかった。卒業後、深く考えずに中学校の教員になる。そこは週に24コマ+担任と運動部の顧問という職場であった。自分の作品を作りたいと真摯に思い始めた私は高校に移り2校目で出身校に。



自撮りしました



自宅展示室の一隅 右奥に辻先生の作品

そのまま30数年、今春には再任用も終了。その間、大阪府教育センターを始め幾つかの作品を設置、作家活動の真似事で忙しくて楽しい年月を送らせていただいた。

今は仕事場に引きこまれるという無上の幸福を味わいながら、週2日の非常勤講師を楽しんでいる。

制作することに生きることの意味を見いだせたのは、結局のところ芸大のもつ魔力だったと今改めて思う。今熊野学舎は不思議な魅力に満ちたところであった。



次号に紹介される方は、

滝口 勝さん (T先生)

1964年(昭39)彫刻科卒業です。

高木 智子

2014年(平26)
絵画専攻油画卒業
チャリ部



大学院を修了して3年がたちました。

思えば、銚子市を出て京都へやってきて、5回目の引っ越しです。6畳1間からどんどん広いところへ、そして安いところへ住みかへ移ってきました。ですので、我が家は雨風をしのげて、暖かいお湯が出て、制作ができる愛すべき木造のボロ屋です。これまた虫にとってもそこは居心地のよい隙間だらけの木の塊のようです。私の毎日といえば、『生活』と絵を描くこと、食べられる植物への水やりの日々です。それから労働も(バイトです)。ため水にボウフラがわいていたので、嫌だと思いメダカを飼い始めたらもりもり食べるので、もっとボウフラ生まないかな。と思ったりします。



制作する部屋は台所の隣なのですぐに絵を描くことができます。部屋を覗くだけの日もあります。

この1年は、台湾に縁のある年でした。旅行に始まり、グループ展への参加、滞在制作、アートフェアなどいろいろな方のお陰でぐるりと繋がり、沢山の方とご縁をいただきました。多謝止みません。



次号に紹介される方は、

杉本 昌之 さん

2012年(平24)油画専攻卒業です。

京都芸大同窓会人材掲示板サイト「やまびこ」の運用を開始

2016年度に美術学部と音楽学部の両同窓会が話し合い、掲示板サイト《やまびこ》を立ち上げました。このサイトは、美術と音楽の卒業生が持つお互いのニーズとシーズを結びつけるための掲示板的作用を果たします。例えば「コンサートのプログラムやフライヤーのデザインを美術学部卒業生にお願いしたい」「音楽学部卒業生に作品や展示会で使う楽曲の相談に乗って欲しい」など様々なニーズ(要望/発注)に両学部卒業生の専門性を生かした対応(サービス/受注)ができればと思っています。もちろん同じ学部卒業生同士の結びつきもOKです。ニーズに対する応えが木霊のように返っ

て来る《やまびこ》のイメージです。当面は、ニーズを主として掲示して参りますが、軌道に乗ってくれば「こんな仕事を受注できます」というシーズも掲示していきたいと思っています。いずれにせよ本サイトの活性化は、卒業生各位にどれだけ利用されるにかかっており、多くの方に広く気軽に利用いただければ幸いと存じます。

<http://yamabiko.kyogei-ob.jp>



平成 29 年度後期 芸術資料館収蔵品展 (2017.9 ~ 2018.3)

第4期

「東アジア文化都市2017京都開催記念①

東アジア 美の競演／饗宴」

9月19日(火)～10月22日(日)

本年開催される東アジア文化都市2017京都を記念し京都、中国、韓国(朝鮮)にちなんだ作品・資料を展示します。絵画や陶磁器、図案など東アジアの文化の競演／饗宴をご覧ください。出品予定作品：神坂雪佳《観楓図》、《色絵七宝透文手焙》、《五帝図》、《白地劃花牡丹文鉢》など



神坂雪佳《観楓図》 明治末～大正初期

第5期

「東アジア文化都市2017京都開催記念②

古画を活かす 保存修復専攻の学び」

10月28日(土)～12月3日(日)

本学保存修復専攻は、当館収蔵品を活用した古画の技法研究と模写制作を行っています。本展では東アジア絵画を中心に、原本の古画と模写作品、研究・制作に関連する資料などを展示します。一般にはなかなか知る機会がない、同専攻の活動をぜひご覧ください。



祇園井特《遊女宮城野図》 江戸時代後期

着任のあいさつ

染織研究室 特任教授(テキスタイル)

野田 涼美



私が初めて本学を訪れたのは1974年です。私は、インテリアデザインを学びましたがもっと自分の手でつくることのできる織物の仕事をしたいと思い恩師のお兄様中村彦之先生をお訪ねしたのです。70年代は、雑誌アンアン創刊や東急ハンズができ手軽に作る楽しさとおしゃれなライフスタイルが提唱され活気に満ちていましたが、60年代からの急激な工業化により失われていく手仕事への危機感や消費されるモノへの疑問も湧いてきた時代です。

中村先生から紹介された学校と新潟で染織を学び、その後ファイバーアートの波に触発され立体作品を発表するようになりました。1988年スパイラル・アーキテクス

チャー「ポストファイバーアートの地平から」には、(以下敬称略)小林正和、三橋遵、ひろいのおこ、井田照一、松井智恵等々の本学出身作家が参加し、私にとって大きな転機となった展覧会でした。この企画構成に当たられたのは、現在美術研究科教授の井上明彦さんです。

今春から教員として勤め始め、学生がのんびりで気ままなように見え驚きましたが実は、各々自分で考え判断するという当たり前のことがここでは成立しているということに気づきました。学生を子供扱いしない教員の度量の大きさと、自分で解決していこうとする学生のチカラ関係が良いのでしょう。すぐに手を出し口を挟みたくない私は、考えを改めなければならないと思っています。

総合芸術学 准教授(陶磁史・考古学)

畑中 英二



3月まで滋賀県教育委員会で遺跡の発掘や文化・文化財のマネジメントの仕事をしていました。専門は、考古学的手法を用いた陶磁史で、日本を中心とするアジアにおける後期旧石器時代から現代に至るまでの製作技法や陶磁器の社会との関わりについて興味を持っています。最近では、主に安土桃山時代の陶磁器の調査研究を進めています。

現在、博物館学関係及び陶磁史に関わる講義を担当しています。

講義ごとに簡単なレポートを提出してもらっており、時折、思いもよらないような文章があります。また、博物館実習で学外の博物館等に出かけると、学生たちは自分のペースで歩き、見、感じたことを語りはじめ脱線することもしばしば…。ただ、そこで語られてい

るのは自分自身が実際にやってみたことをはじめとしたリアリティーに立脚しており、的外れなことも幾分かあるのですが、まずは聞いてみようと思わせてくれます。

着任して僅かな日々ではありますが、学生たちが毎日のように巻き起こすサプライズを楽しませていただいています。

日々楽しませてくれる学生たちに報いるべく、総合芸術学科においては研究者を育てること、美術学部全体においては芸術表現をより豊かにするために陶磁器の歴史を分かり易く伝えること、自らの芸術表現の場の一つである博物館を熟知した人を育てることに奮闘したいと思っています。

五芸祭報告

平成29年5月25日から28日にかけて、第63回五芸祭東京大会「嗚呼、東京」が東京藝術大学で開催されました。今大会では「コンパクトな五芸祭」をコンセプトに、展示の代わりに美術館ツアーや作品を持ち寄っての交流、従来のライブとは違ったワークショップを行ってからの即興パフォーマンスなど、例年とは違った企画も行われました。各会場での競技会は、天気の良い日もありましたが、各校の部員は全力で試合を行ってくれました。また、閉会式では、2018年度開催校・愛知の新委員長から、5校の生徒から募集、選考した五芸祭を象徴するエンブレムの発表がありました。今後宣伝や、新たに作成する優勝旗に盛り込まれる予定となっています。

6月より、新しい委員長をはじめ各セクト新体制で次の五芸祭に向けて動き出しました。5つの大学の交流ができるまたとない場を作るため、委員一同これからも頑張っていきます。

五芸祭実行委員会 委員長
2回生 駒 優梨香



体育交歓会(ラグビー部)
舎人公園にて



アートマーケット 東京藝大中庭にて

今秋の芸大祭「象の店」(同窓会)開店ご案内

今年も母校・京都市立芸大の「芸大祭」が11月3日(金・祝)～5日(日)の日程で開催されます。同窓会象の会も5年目となる模擬店「象の店」《湯とうふとお酒の店》をオープンし、同窓生と学生・教職員との交流の場として好評をいただいている内容で今年も張り切って頑張ります。私、会長も都合が付けば出来るだけ店主として店に居る予定です。皆様には是非ともお運びいただきまして「芸大祭」を盛り上げていただきたく存じます。

お届けしました「会報象」のラストページに店の案内とワンドリンク無料券が付いていますので、それを持って西京区大枝の里へ馳せ参じてください。店主ほか副会長など役員が皆様をお待ち申し上げています。

2017年8月
美術学部同窓会象の会
会長 上村 淳之
(「象の店」店主)



キトリ線

平成29年度京都市立芸術大学祭 あたたか〜い湯豆腐のお店

美術学部同窓会「象の店」ワンドリンク無料券

京都市立芸術大学構内 中央棟2階 南側出入口付近

平成29年11月3日(金・祝)～5日(日)

開店時間(予定) 12:00～20:00 (5日は18:00閉店予定)

※本券は美術学部同窓会「象の店」でのみ有効です。芸祭は11:00～開催予定。

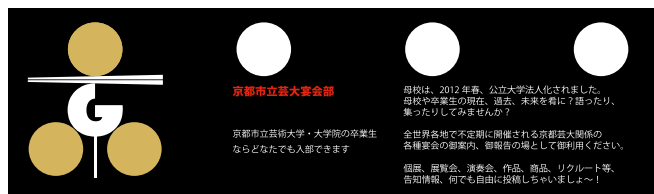
※万が一、開店できない場合は事前に同窓会ホームページでお知らせしますのでご確認ください。

美術学部同窓会



<Facebook> 京都市立芸術大学宴会部のご案内

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の代表格でもあるFacebook内の秘密のグループとして、2011年9月、京都市立芸術大学宴会部誕生!!現在、部員数は600名超え、ほぼ毎日、新しい記事が投稿されています。Facebookをご利用の京芸関係者、教員・卒業生・在校生なら、どなたでも入部いただけます。大学は勿論、恩師や卒業生・在校生の現在、過去、未来を肴に語ったり、集ったりしてみませんか?全世界各地で不定期に開催される各種宴会のご案内、ご報告の場として、どうぞご利用ください。個展、展覧会、演奏会、作品、商品、リクルート等、告知情報、何でも自由に投稿しちゃいましょう~!



※入部の方法

秘密のグループですので、部員以外は、グループ名、参加者、投稿内容など一切の情報を閲覧できません。よって、既に部員であるお友達に誘っていただくか、下記まで、メッセージでお申込みくださいませ。

京都市立芸術大学宴会部 本部長	竹下俊也(1984年PD卒)
〃 カバーデザイン	神谷利男(1987年VD卒)
〃 管理人	茶谷文子(1986年PD卒)

通常24時間以内に管理人側で承認いたします。

(茶谷文子 PD卒)

事務局だより

ニセ名簿業者、同窓会関係者や同窓生を騙って情報を聞き出そうとする者にご注意を

同窓会からの案内は、同窓会の所在地(大学内に設置)や電話番号が正しいことを必ず確認して対応ください。不審な点は同窓会へ電話などで直ぐにお問合せください。

「同窓生名簿 2015」について

2015 年 7 月に発行しました「同窓生名簿 2015」まだ在庫があります。ご希望の方は代金 3,500 円(送料込)をご送金ください。折り返し送付いたします。但し、原則、同窓生 1 人につき 1 冊ですので、既に 2015 年版名簿をご購入の方は購入できません。

振込先: 郵便局に備え付けの振替用紙(青色)をご使用ください。
口座番号: 01030-7-12844

加入者名: 京都市立芸術大学同窓会

通信欄: 同窓生名簿 2015 代金とご記入の上、氏名、卒業年、専攻、住所(送付先)、電話をご記入ください

同窓会費納入をお願いします。来年 2 月発行予定の同窓会報 NO.66 は経費節減のため会費納入者のみに送りますのでご了承ください。

次の場合は、事務局までご連絡ください

●同窓会後援名義使用

同窓会会費を納入されている会員が主宰する作品展など(個展、グループ展)で同窓会の後援名義使用を希望される方。

●展覧会の案内、情報をお寄せください

同窓会宛に送っていただいた展覧会の案内、情報はホームページや会報に掲載しています。

●満80歳以上の会員 会費免除を希望される方はご連絡ください

過去 10 年間同窓会会費を継続して納入いただいた満 80 歳以上の会員で会費免除を希望される方。

●氏名、住所、電話、FAXなどを変更された時

お忘れになると会報などの諸情報をお届けできなくなりますので郵便、FAX、メールのいずれかの方法でご連絡ください。ホームページの住所変更フォームからも変更できます。

編集後記

- 同窓会も上村会長を中心として、年々活動の幅を広げ、様々な面で活性化してきました。美術、音楽両学部同窓会の連携、芸大作品展「同窓会賞」の卒業式内授与、芸大祭における同窓会模擬店「象の店」の出店、大学事業支援、現役学生とのつながりなど、同窓会として理想の形に近づきつつあります。
- きたる2020年、東京オリンピック開催年には大学創立140周年を迎えます。同窓生名簿2020発行、京都芸大同窓会アートフェア2021開催、同窓会象の会会員カードの作成等、その節目の

年に行われる記念行事、事業について、同窓会として今から準備を始めていきます。

- 今年も11月に開催されます芸大祭にて、恒例となりました同窓会「象の店」を出店いたします。美味しい湯豆腐とお酒を用意しまして、店主、上村会長と共に皆様のご来店をお待ちしております。本報の「ワンドリンク無料券」チケットを忘れずにご持参下さい。

(会報編集委員長: 阿部 緑)

キトリ線

JR京都駅北側バスターミナルC2のりば

京阪京都交通バス 2・14・28 系統に乗り、芸大前(約45分)下車。徒歩すぐ。

阪急桂駅東口

京阪京都交通バス1・2・13・14・25・28 系統に乗り、芸大前(約20分)で下車。徒歩すぐ。

JR桂川駅・阪急洛西口駅

京阪京都交通バス11A系統(京都成章高校前行き)に乗り、芸大前(約15分)下車。徒歩すぐ。

